## Appendix A

ENCYCLOPAEDIA CHIMICA

**‡** 

П

Ł

化学大辞典編集委員会編

**共立出版株式会社** KYORITSU SHUPPAN CO,LTI

12008年7月18日■16時52分

羅

묈

© 1963

1960 年 9 月 30 日 初 版 第 1 刷発行 1963 年 9 月 15 日 結副版第 1 研発行 1997 年 9 月 20 日 結則版第 36刷発行

社社 社社社所場器 ٩ĸ **4**1 K 忆 杯 棎 К 揿 ū 本本印漆 黝 1 柔 猅 日日石 本 東 新新武大中第 本文用裁 К 本文平版印题 版學版本図 裁雑クロ 40 任 原展劉劉毅

PRINTED IN JAPAN 複数転載を禁ず NDC 430.3 社団法人 (名)

社団法人 自然科学者協会 会 員

神物会

ISBN4-320-04017-1

8/L .9 6131 .ON

**■**2008年7月18日■16時53分

コロイ トイ

沿コロイドになり、粒子コロイドはたいていこれに属する.粒子コロイドの勢合、分散質と分 するものが多い、 疎水コロイドはほとんど不可 ばん研究されたものは 1,2,4,5 のみである。

								_
室	蘇	会グル、政化と教	ルピー、色ガラス	168	1). ≤<	パール・サイボー	070	南中
鞍	TYK	ચ	N Y N	マンド	2		•	7. 7. 8
16	Ĭ Ħ	٠ *	西茶コロ	H	かえとり	1		四米 二
*	老	*	批	#	## #	4 4	~	#
Ť.	解	炭	胭	ķ	海田	9 %	<b>ž</b>	100
分数页	#	按	¥	#	# #	£ ±	ŧ :	*
4	80	23	超	展	le i	Ę	₹ !	ĸ
	-	2	E-3	٠,	in a	3 K		

(日展:分々水)

コロイドイオン [※のJoid ion] 水溶液中に存在する直径 1~100mμ の荷電粒子をい

mie] 19 年記の中ごろ T. Graham たしり数 数しにくい非結晶性の物質に対しコロイドとい う名称が与えられたが、その後 R. Zsigmondy、 H. Siedembof や T. Tyndall の研究などによ -化学, = ウ質化学, = mistry = #Kolloidche-べる研究分野, 2) 雰面の物理的, 化学的性質を るが、今日でなられるシンスに、この独立した類目とした数がなるようになった。これがなるようになっている。これがある。これがある。 フャロシー\*などの密域が判核をまちらむ。た たなこれもの分野なコロイド化学 職へる分野・1)の研究分野には高分子化学\* (\*colloid chemistry **リゴイドががく** 

(国際部次周) や雰囲に関する科学でも и п г г

[\*colloidal' gold] 多びが 1 زر | **切コロイド外回い** コロイドさん

の中代分数していることもある。 数法 ブレージタと弦\* 金属イオンまたは金属を含む酸イオンの体数を認いする方弦などがある。 鉄のイオンの溶散を選いする方弦などがある。 鉄のは 変化物 まっすい ののののののので、オルガンジャとしてでないとつくれな

こ、 毎回・邱油 (代数的な下口部コロイドがつくり、 一貫に下伏而か、カレギン、レロダンアン酸、コサチン、プロダンピン酸、コサケコン酸などの保険ロロイドが

用いたものは安在である。このようにして安房にしたゾルは原発設備して国体状にしても、これに水を加えるとまたゾルにもどる、安定にしたコロイド状金属のゾルは医薬品または秘線と

→ 母グル、銀グル、コロイ

した用いられる.

[≉colloida

た怒弯コロイドとして水または有機液体中に分散しているが、国体コロイドとしてガサメなど

colloidal metal #kolloidales Metall1

コロイド じょうきんぞく

12 Y H M 1

[≭colloidal di

9

(%) (%)

1 聚氧基指形聚

→ 超形線形

かかかかい 700 mension

> から有する、これ代益際後海に重要条(口)ないのクェン酸ナトリケムの国務を示え、お置するのグェンを 銀行保護コロイドや巨火乾燥して毎のれる:超原銀色なれて類テン螺のの小数平で、今尾光水や有する、1~10%溶液を、毎期数性の発露癌として化ノケ性疾患を用いる。またコロイド鍵積しが全国の原幹とため、シャ光にた対密容器に、いった。 [\*colloidal silver | 図 コロイドがん

#2 [\*colloidal system u ロイキ | | 1 \*Kolloidsystem] コロイドけい

silica MXolloidkiesekäure] 一般やは茶 化物として水中に原剤している二酸化ケイ報を いうか。気体や非水酸体中のものももの。軽減 一口ハッダン化ケイ報を水中に加えるか。ケイ酸 「アルリの水解液に終った。 一国 ケイ酸の水中への解解度に小であるが。 のようだしてつくったケイ酸はグルキには対 一次でなったまま施留でなながながな数と大いない。 は窓するこじたこれが依頼の今もこに関係ケイ繋が対戦してくる。 アダコーダ、ケホトン、糖類など次酸結作用が有したこが、多くの右級額のアッショ結、指性炭、アンミャンや コロイドけいさん

の水酸化物は酸結作用を有し、特に酢酸ナトウムが物物である。酸、アルカカは既次作用有する、植機染料、アルコール、アルトンなを吸着する、アッ化水素酸と固めた反応してや吸着する、アッ化水素酸と固めた反応して の水酸化物は液結作用か有し, 2. 多版路十名.

コロイドこくえん ——課紀, コラ法島館 px colloidal graphite \*\* Kolloidgraphit] ・展発をきわめて歓迎に分散させたもので、分 教練して,が、油生でなグリースだらを用いた 動品がある. 教法 一般にコロイド歌かのへあ では被談的解しか\*祝が 届いわれる。 タンニン ルギッグ(Oildag 袖), キャスターダッグ(Cast ス)などが踏名がわる。いちやの色色の呼ば模 体のかしち文字で dag は Deflocated Acheson ardag ヒドツ治), グリダッグ(Gredag グリー Graphite のかしら文字である

ので、アルミーン 40の所続から、100円、アルミーン 40の分様後とサントである。 4 の題の会の題の人が表際ではた米外を超にて会の題の人がとなっていた。 4 のないを 4 のでは 4 のので 4 園島分析においては中蘇陽れる面にし、結果と個人ないでいては中蘇陽れる面にし、結果を個くするから温暖\*などによった熱皮験作を要する。 2) 出紹分析、出ロタが中は安定なコイン状党観を複載に生成させ、その数組光や販光を加って分析を行なう。 3) 分類皮の大き ロイド状状観を板痕に生成され、その数組状や段光が泊って分校を行なう。 3) 分数既の大きたコロイデ技器では合けるものが多いから比 \*\* ▼ B H 1 **省たコロイド状で、ロ俄や凶過ナやよう 秋沈駿 [\*colloidal precipitate]** コロイドじょうたい ——状state 類kolloider Zustand] コロイドじょうちんだん

ナンの反応で描つく縮在、高分子臨床質は水溶液中で圧まれた質の臨者をもつコロイドムオンとして存在する、このようたコロイドの一つに反対電荷をもつコロイドの一つに反対電荷をもつコロイドを加えると臨衙の中桁 の反応の化学量器的な関係を利用 MKolloidtitration 色分析に利用される。 コロイドアきてい titration

り、被殺後年にコロイドが存在する場合、指示 嫌の示す色が落策の正しい。DH 値に対応しない にとがある。これば、循示薬の酸形または複結 形のいれまか一方がコロム「の数面に条に強く 収穫まれるでも、指示薬の解釋平衡が溶液の DH にとの記載をロコイ、「の種荷が未下、影響を あったいた、 国コロイドの種荷が大きい影響を あったいた、 国コロイドが存在する場合は議結 在曲示薬を、 負コロイドが存在する場合は議結 循示薬を用いたば、コロイド競技をもは **物ド繋**を 用いて pH を激化する場合に 起こる誤離の一 コウ質製芸 ---誤差, コウ 海Kolloidfehler] コロイドにお colloid error

■81RT

Yahoo! JAPAN アースプロジェクト 地球を守ろう







## Yahoo!翻訳

英・中・韓・日4か国語に対応。文章、ウェブページ、Yahoo!検索を翻訳

<u>お知らせ</u> - <u>使い方</u>

## [PR] おすすめキーワード「新幹線」で検索

テキスト翻	<b>弥</b> ウェブ翻訳	利尿糖 利尔格	<u> </u>	翻訳設定
製法: えるか	角4000文字/全角2000 四ハロゲン化ケイ素を、ケイ酸アルカリの水 濃塩酸を加える。	水中に加     溶液に	○中⇒日	The manufacturing method: I add concentrated hydrochloric acid to a water solution of the silicic acid alkali slowly whether I add four halogenation silicon underwater.
翻訳	結果			対訳ハイライト: ON クイック辞書: ON
1.	製法:		D	The manufacturing method:
2.	四ハロゲン化ケイ素をスイ酸アルカリの水溶液に加える。			I add concentrated hydrochloric acid to a water solution of the silicic acid al kali slowly whether I add four halogenation silicon underwater.

## 対訳ハイライト:

原文または訳文中の語句にポインタをあわせると(マウスオーバー)、どの語句がどのように訳されたのかを語句のハイライト表示で確認することができる機能です。

※対訳ハイライトに利用している技術は特許出願中です。[ もっと詳しく]